

回答者氏名: 氏平長親(うじひらながちか)

(1) 市民との協働を推進しますか?

はい ・ いいえ

NPO と自治体が対等な可能性に立ったパートナーシップ・協働が重要だ、と考えています。あらゆる分野でパートナーシップとして取り組んでいくことは必要ですが行政側が数値目標を掲げ押しつけることが、NPO を単なる自治体の下請けとする関係になる、と思います。今の安心、安全の地域町内会と岡山市との関係は完全に下請けではないでしょうか。

(2) NPO または協働の担当課を設置されますか?

はい ・ いいえ

協働の推進課は必要と考えます。NPO の(資源も含め)情報交換、活動支援センターの設置も必要でしょう。

(3) 協働事業などをする上で、NPO を実行力のある事業体として、捉えていますか?

はい ・ いいえ

今でも DV の被害者支援、エネルギー支援、男女共同参画、文化、医療、福祉などあらゆる分野の市民運動での実績が施策を動かしてきている、と思います。

(4) 協働化テスト(*1) または類似の施策を実施されますか?

はい ・ いいえ

実施することも、方法も、市民と相談したい、と考えています。

(5) 各課への協働担当者の配置を実施されますか?(倉敷市等で実施)

はい ・ いいえ

(6) 1%支援制度(*2) または類似の施策を実施されますか?

はい ・ いいえ

一律1%支援、納税者が団体を選ぶということで、ある種の競争性や意図が働く危惧があります。それよりも実態にあった支援が必要だと考えます。NPO の多くは自力で会員を確保し、事業を起こし、事業所を探し、事務所費、人件費のやりくりで頭悩ませているというのが実態です。背景に隠れている苦勞をよく聞いて、痒いところに手がとどく支援が必要ではないでしょうか。

(7) 都市部の空洞化対策において NPO との協働による施策や事業を実施されますか？

はい ・ いいえ

今でも出石のまちなど、市民が自主的に「街おこし」を行っています。
また、問屋町など若い人たちが起業して商店が増えています。先ず、中心市街地活性化の優先順位を地域住民に決めていただき、その上で市として、空き店舗対策、街おこし事業など実施していきたい、と考えています。
特色のある街づくりをしている活動団体に補助金を出したり、リーダー養成なども必要と考えています。

(8) 観光地における環境整備において NPO との協働による施策や事業を実施されますか？

はい ・ いいえ

今でも観光ボランティアなど市民協働で、観光客への「おもてなし」をしている、と思います。また、各地域では NPO が「歩いて楽しめるマップづくり」や「ゴミ拾い」「花の手入れ」など行っています。引き続き施策の充実を図りたい。

(9) 岡山市内在住の外国人支援において NPO との協働による多文化共生の施策を実施されますか？

はい ・ いいえ

相談窓口の設置、外国語ボランティアの養成、パンフレットや道案内図など、多国籍の分かり易いものを作るために NPO との協働は必要不可欠と考えています。
定期的実施している外国人市民会議も、そこで出された意見を反映する仕組みをつくる必要がある、と考えています。

(10) 合併地域の市民活動支援において NPO との協働による施策や事業を実施されますか？

はい ・ いいえ

どこであれ、NPO との協働は必要と考えています。

(11) 政令指定都市になって NPO 法人設立認証事務が県から移管されましたが、現在の岡山市の NPO への施策は十分だと思いますか？

思う ・ 思わない

移管事務と他機関の支援事業の紹介のみなので、NPO の活動を施策に活かせる仕組みが必要と考えています。

(12) NPO の活動支援施設は、岡山県や倉敷市、津山市、笠岡市、井原市や他の政令指定都市にはありますが、岡山市にはありません。岡山市には、NPO の活動支援施設は必要だと思いますか？

はい - いいえ

市民活動の拠点として、家賃の要らない場所の提供が必要と思います。
 市としての活動拠点センターをつくり、相談窓口の設置、情報交換などできるようにしたい、と思います。